



# 施策評価シート

5 施策における主要事業等		所管課	H21事業費予算	H21事業費決算 (速報値)	H22事業費予算	H23事業費予算
1	生活安全対策事業	危機管理課	43,239千円	38,405千円	41,199千円	
2						
3						
4						
5						

6 施策コストの状況					
	21年度予算	21年度決算(速報値)	22年度予算	23年度予算	
トータルコスト	58,638千円	50,776千円	56,123千円		
事業費	43,239千円	38,405千円	41,199千円		
人件費	15,399千円	12,371千円	14,924千円		

7 一次評価 主管部長による評価	
(1) 施策における現状と課題	
<p>区内の刑法犯認知件数は減少している中で、「振込め詐欺」「ひったくり」の被害件数は横並び傾向にある。今後も高齢化、そして町会、自治会の加入率の低下により、自助、共助による防犯種力が低下し、高齢者の被害が増加していくと考えられる。</p>	
(2) 今後5年間の施策の取り組みの方向性	
<p>刑法犯認知件数の抑制のためには、既存事業の継続実施に併せて、環境美化種力とも連携し、地域防犯力の強化を図っていく。また、犯罪被害者になりやすい高齢者の防犯意識の向上についても積極的に図っていく。</p>	

8 外部評価委員会による評価	
<p></p>	

9 二次評価 区の最終評価	
<p></p>	

# 主要事業等説明シート

施策	34		
事業名	生活安全対策事業		(主要) ・ その他

所管課名	危機管理室 危機管理課				
事業内容	事故や犯罪のないまちづくりを実現するため、区に登録申請のあった安全安心パトロール団体への資機材支給等を行います。 ・ 江東区安全安心パトロール団体への資機材支給 ・ 江東区パトロールカーによるパトロールの実施 ・ 江東区生活安全対策協議会の開催 ・ こどもセーフティー教室の開催 ・ 江東区地域安全のつどいを区内の警察署や防犯協会と共同開催 ・ 生活安全ガイドブックの作成・配布 ・ 地域安全マップ作成支援 ・ こうとう安全安心メールの配信				
事業の目的・効果	町会・自治会、市民団体及び警察、行政等関係機関が連携し防犯環境を整えるとともに、区民の防犯意識を高め、誰もが安全・安心して暮らせるまちをつくる。				
事業と関連する指標	指標名	単位	現状値 (21年度)	目標値 (26年度)	
	125 治安が悪いと思う区民の割合	%	21.6	-	
	126 区内刑法犯認知件数	件	6718 <small>(20年度)</small>	-	

事業の活動量とコスト								
活動量			単位	21年度予算	21年度決算 (速報値)	22年度予算	23年度予算	
		防犯パトロール団体への資機材の支給件数		件	30	15	10	
			内訳等					
	こうとう安全安心メール登録者数		人	2000	2529	2200		
		内訳等						
事業コスト			単位	21年度予算	21年度決算 (速報値)	22年度予算	23年度予算	
	事業費(A)		千円	43,239	38,405	41,199		
	財源	国・都補助金等(a)	千円	0	0	0		
		利用者負担(b)	千円	0	0	0		
		一般財源(A - a - b)	千円	43,239	38,405	41,199		
	人件費(B)		千円	13,112	12,371	12,930		
	内訳	常勤	人	1.5	1.5	1.5		
			千円	13,112	12,371	12,930		
再任用		人	0	0	0			
		千円	0	0	0			
再雇用	人	0	0	0				
	千円	0	0	0				
トータルコスト(A + B)		千円	56,351	50,776	54,129			

平成22年度当初予算事業費の主な内訳			
項目	金額(千円)	項目	金額(千円)
啓発キャンペーン事業	2,275千円		
パトロール団体支援事業	1,219千円		
区パトロールカー運行事業	34,152千円		

事業の 現状と課題	<p>区内の刑法犯認知件数は減少している中で、振込め詐欺による被害件数は横ばい傾向にある。今後も高齢化、そして町会、自治会の加入率の低下により、自助、共助による防犯活動が低下し、高齢者の被害が増加していくと考えられる。</p>
今後の 方向性	<p>犯罪件数の抑制のためには、既存事業を継続実施していくことが重要であるとともに、犯罪被害者になりやすい高齢者の防犯意識の向上を積極的に図っていく。</p>